

docomo Developer support API 共通リファレンス

第 2.0.7 版

2018 年 4 月 11 日
株式会社NTTドコモ



掲載されている会社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。
本書では、コピーライト及び商標・登録商標表記はしていません。

改版履歴

日付	版	改版内容
2013年11月11日	1.0.0	初版
2014年3月17日	2.0.0	ユーザの認可を必要とするAPIを利用する場合の記載を追加
2014年5月29日	2.0.1	2.2章の<docomo Developer support に登録する必要があるもの>に追記
2014年9月18日	2.0.2	(付録1)の「つながり情報等を取得」を修正
2014年10月6日	2.0.3	(付録1) scope 一覧に「トレンド記事抽出」APIを追加
2015年2月24日	2.0.4	(付録1) scope 一覧に「雑談対話」APIを追加
2015年12月1日	2.0.5	2.3.2 アクセストークン新規取得シーケンス docomo ID を d アカウントに変更
2017年10月13日	2.0.6	ドコモ電話帳の記載を削除
2018年4月11日	2.0.7	フォトコレクション の記載を d フォト に変更

目次

1.	はじめに	1
1.1.	本書について	1
2.	APIご利用にあたって	1
2.1.	概要	1
2.2.	アプリケーション作成にあたって	1
2.2.1.	API キー	2
2.2.2.	client_id【ユーザの認可を必要とする API を利用する場合に必要】	2
2.2.3.	client_secret【ユーザの認可を必要とする API を利用する場合に必要】	2
2.3.	ユーザの認可を必要とする API の利用にあたって	2
2.3.1.	概要	2
2.3.2.	アクセストークン新規取得シーケンス	3
2.3.3.	アクセストークン再発行(リフレッシュ)シーケンス	4
2.3.4.	利用設定	4
2.3.5.	注意事項	5
3.	Authorization エンドポイント	5
3.1.	リクエスト	5
3.2.	レスポンス(正常時)	6
3.3.	レスポンス(エラー時)	6
4.	Token エンドポイント	8
4.1.	リクエスト	8
4.2.	レスポンス(正常時)	10
4.3.	レスポンス(エラー時)	13
5.	ユーザ ID 取得インタフェース	15
5.1.	リクエスト	15
5.2.	レスポンス(正常時)	15
5.3.	レスポンス(エラー時)	17
6.	API 共通リファレンス	19
6.1.	リクエスト	19
6.2.	レスポンス	20
6.3.	共通エラーコード	21
(付録 1)	scope 一覧	24

1. はじめに

1.1. 本書について

本ドキュメントでは docomo Developer support で提供される API を利用するために必要な API キーやアクセストークンの使用方法およびリクエスト・レスポンスについて記載します。各 API の詳細については、機能別リファレンスを参照してください。

各 API を利用するサービスおよびプログラムにおいては、別途規定している利用規約およびガイドラインに必ず準拠してください。

API を実行する環境や仕組みは OAuth 2.0 Authorization Framework の Authorization Code Grant をベースに構成されています。詳しくは OAuth 2.0 の RFC 6749、RFC6750 を参照してください。

2. API ご利用にあたって

2.1. 概要

開発者が作成するプログラム(以下、クライアント)が docomo Developer support で提供される各 API を利用するためには、API の利用申請を行い、API キーおよび、API によっては client_id と client_secret を取得する必要があります。それぞれの詳細を以降に示します。

2.2. アプリケーション作成にあたって

API の利用申請をするためには、事前に以下の情報が必要です。これらのうち、コールバック URL(※印)は、ユーザの認可を必要とする API(2.3 節を参照のこと)を利用する場合に認可コードを受け取るためのエンドポイントです(2.3.2 項を参照のこと)。コールバック URL は必須項目であるため、ユーザの認可を必要としない API のみを利用する場合はダミー値(<https://dummy>)を入力してください。その他の項目の詳細は API 共通ガイドラインをご覧ください。

<docomo Developer support に登録する必要があるもの>

- ・アプリケーション名
- ・アプリケーション概要
- ・サービス開始予定日
- ・サービスアイコン画像
- ・アプリケーションタイプ
- ・コールバック URL[※]
- ・提供者名
- ・サポートメールアドレス
- ・サイト URL

また、API の利用申請により以下の情報を取得できます。これらのうち、client_id、client_secret (※印)は、ユーザの認可を必要とする API(2.3 節参照のこと)を利用する場合に必要となります。

<docomo Developer support から取得する必要があるもの>

- ・ API キー
- ・ client_id※
- ・ client_secret※

各項目の詳細を以下に示します。

2.2.1. API キー

API キーは、API を実行するためにリクエストに付加する必要がある情報要素であり、docomo Developer support の利用申請によって取得できます。API キーは部外者から参照されないようにしてください。

なお、d フォト、データ保管 BOX の各 API については API キーをリクエストに付与しないでください。各 API の機能別リファレンスをご参照ください。

2.2.2. client_id【ユーザの認可を必要とする API を利用する場合に必要】

認可コード(authorization_code)を取得するために必要な ID であり、docomo Developer support の利用申請によって取得できます。

2.2.3. client_secret【ユーザの認可を必要とする API を利用する場合に必要】

docomo Developer support の利用申請によって取得できます。認可コードと client_secret の2つの情報を使ってアクセストークンを取得することができます。client_secret は部外者から参照されないようにしてください。

2.3. ユーザの認可を必要とする API の利用にあたって

2.3.1. 概要

開発者が作成するプログラム(以下、クライアント)が docomo Developer support で提供される API のうちユーザの認可を必要とする API を実行するためには、クライアントが API を通してユーザのリソースにアクセスすること、および、どのリソースをどのように参照・操作するのかということについて、ユーザの認可を得る必要があります。

ユーザを認証し、認可を求める仕組みについては docomo Developer support システムが予め用意しており、クライアントはこれを利用することができます。ユーザから認可を得られると、クライアントは docomo Developer support システムからアクセストークンを取得できるようになります。

ユーザの認可を必要とする API を実行する際には、API キーに加え※、アクセストークンをリクエストに付与する必要があります。docomo Developer support システムでは、与えられたアクセストークンの正当性を検証し、有効であると判断した場合は、クライアントから指定されたリクエストを実行します。

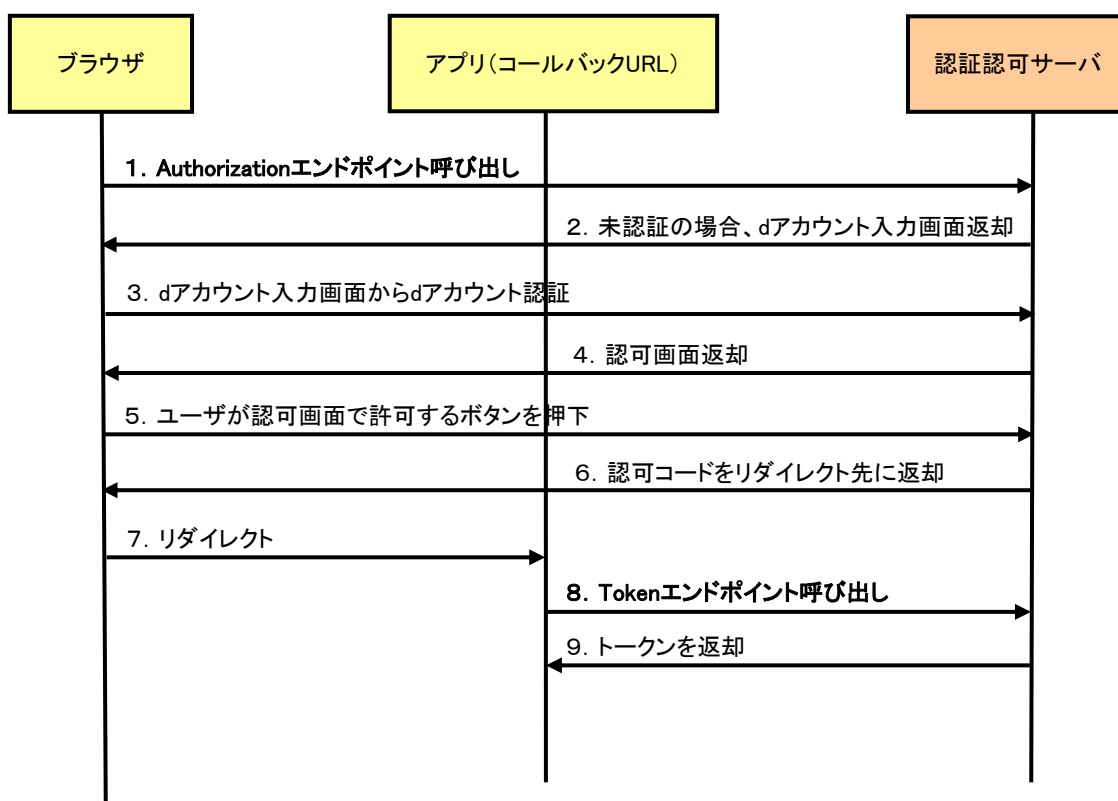
(※)d フォト、データ保管 BOX の各 API については API キーをリクエストに付与しないでください。各 API の機能別リファレンスをご参照ください。

2.3.2. アクセストークン新規取得シーケンス

アクセストークン新規取得のためのシーケンスを以下に示します。アプリケーションで認証認可サーバの呼び出しを実装する必要があるのは次の2点となります。

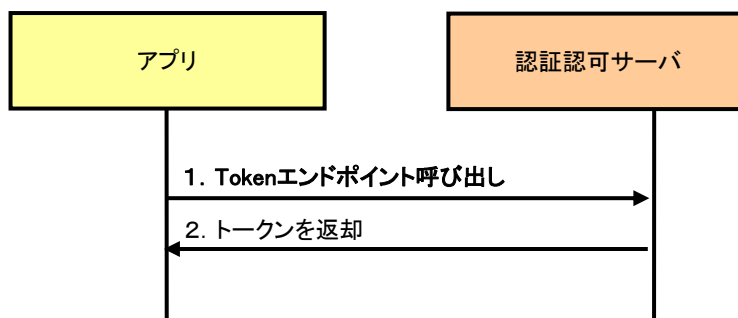
- ・Authorization エンドポイント呼び出し
- ・Token エンドポイント呼び出し

アプリケーション新規登録時に指定したコールバック URL と scope、および払い出された client_id をパラメータとして Authorization エンドポイントを呼び出すと、d アカウント入力画面(d アカウント認証済みでない場合)と認可画面が返却されます。利用者が画面から認可を実行すると画面内に埋め込まれている同意結果受付エンドポイント呼び出し処理が実行され、予め docomo Developer support に登録したコールバック URL が呼び出されます。コールバック URL 呼び出し時には認可コードがリクエストパラメータとして渡されますので、認可コードと client_id および client_secret を用いて Token エンドポイントを呼び出すことでアクセストークンとリフレッシュトークンを取得できます。



2.3.3. アクセストークン再発行(リフレッシュ)シーケンス

新規取得時に払い出されたリフレッシュトークンを用いて Token エンドポイントを呼び出すことで新たなアクセストークンを取得できます。



2.3.4. 利用設定

dフォト、データ保管BOXの各APIについては使用前にユーザ側でクラウド利用開始の手続きを行っておく必要があります。詳細は各APIの注意事項をご参照ください。

2.3.5. 注意事項

OAuth 2.0 仕様では client_id と認可コードは第三者に参照されてもよいことになっていますが、docomo Developer support システムがサポートする Authorization Code Grant おいて、アクセストークンや client_secret が第三者から参照されることを想定していません。アクセストークンが漏洩すると、第三者が開発者に成りすまして API を実行できてしまいます。また、client_id と client_secret が漏洩するとアクセストークンを発行可能であるため、同じく、第三者が開発者に成りすまして API を実行できてしまいます。これらの理由によりアクセストークンや client_secret を第三者から参照されないようにしてください。

セキュリティに関しては OAuth 2.0 仕様の RFC で規定されている対策を講じてください。

3. Authorization エンドポイント

本章では、ユーザの認可を必要とするAPIを利用する場合のアクセストークン取得に関するリクエスト、レスポンスについて示します。

本エンドポイントは、OAuth2.0仕様のAuthorizationエンドポイントであり、認可要求を受け付けます。Authorizationエンドポイントはブラウザを利用してアクセスしてください。

OAuth2.0仕様におけるAuthorizationエンドポイントでは、いくつかのresponse_typeが規定されていますが、本システムでサポートしているresponse_typeは、「code」のみです。

3.1. リクエスト

URL	https://api.smt.docomo.ne.jp/cgi11d/authorization
HTTP メソッド	GET

クエリパラメータ名	response_type
説明	リクエスト種別 必須／オプション: 必須
値	“code” 固定

クエリパラメータ名	client_id
説明	クライアント ID 必須／オプション: 必須
値	アプリケーション新規登録時に払い出された client_id を設定

クエリパラメータ名	redirect_uri
説明	コールバック URI。認可コード通知先 URI。 必須／オプション: 必須

値	アプリケーション新規登録時に指定したコールバック URL を設定
---	----------------------------------

クエリパラメータ名	scope
説明	API 利用申請時に要求した「利用する API 機能」に対応する scope (英名)。 半角スペース区切りで複数指定が可能。 必須/オプション: 必須
値	scope 名を半角スペース区切りで設定 ※1

※1 指定可能なscopeの一覧を(付録1)に示す。

クエリパラメータ名	state
説明	コールバック URL に渡すパラメータを指定する。詳細は OAuth2.0 の RFC を参照のこと。 必須/オプション: オプション
値	1~16 文字の文字列

リクエストのサンプルを以下に示します。

<pre>GET /cgi11d/authorization?response_type=code&client_id=w2fi67u8Uk39ETeREkcXgVIMV3GsMcS542fdWGp6iAst&redirect_uri=https%3A%2F%2Ftest.com%2Foauth-client%2Fjsp%2Fbackcode.jsp&scope=name+sex+tel&state=4iU HTTP/1.1 User-Agent: Mozilla/5.0 (Windows NT 6.1) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/33.0.1750.117 Safari/537.36 Host: api.smt.docomo.ne.jp</pre>
--

3.2. レスポンス(正常時)

正常時のレスポンスは画面を返却します。

3.3. レスポンス(エラー時)

エラー時のレスポンス仕様を以下に示します。

No	項目	内容	備考
1	ステータスコード	302 ※1	
2	Body の Content-Type	-(Body なし)	
3	Body の 文字コード	-(Body なし)	
4	Location ヘッダの URL	Authorization エンドポイントへのリクエスト時に redirectURI で指定された URL	

No	項目	内容	備考
5	Body の Content-Length	－ (Body なし)	

※1 以下の場合、ステータスコード200にてエラー画面を返却します

- + 不正なclient_idが指定されている場合
- + 指定されたredirect_uriが事前登録されたものと一致しない場合
- + redirect_uriが未指定の場合

表 レスポンスパラメータ

No	項目名	パラメータ 種別	パラメータ 名	必 須	型	文字 列長	利用可能 文字種別	備考
1	エラーコード	Location ヘッダ URL 中のクエリストリング	error	○	String	－	－	詳細は「表 エラーコード一覧」参照。
2	状態	Location ヘッダ URL 中のクエリストリング	state	－	String	1～16	%x20-7E	リクエスト時に指定された state 値。

表 エラーコード一覧

No	エラーコード	意味	備考
1	invalid_request	必須パラメータの欠如、パラメータ不正、クライアントシークレット有効期限が設定されておりかつクライアントシークレットの有効期限切れ、等	
2	unsupported_response_type	サポート外の response_type	
3	invalid_scope	以下のとおり scope 値が不正である <ul style="list-style-type: none"> ・scope 値が空(半角スペースのみ指定) ・同じ scope 値を複数指定 ・未定義の scope 値を指定 ・要求元のクライアントに許可されていない scope 値を指定 	
4	server_error	認可サーバの予期しないエラー	
5	temporarily_unavailable	認可サーバが一時的に利用できない状態	

レスポンスのサンプルを以下に示します。

HTTP/1.1 302 Moved Temporarily

Location: https://test.com/oauth-client/jsp/backcode.jsp?error=invalid_request

4. Token エンドポイント

本章では、ユーザの認可を必要とするAPIを利用する場合のアクセストークンとアクセストークン再発行(リフレッシュ)用のリフレッシュトークン取得に関するリクエスト、レスポンスについて示します。

本エンドポイントは、OAuth2.0仕様のTokenエンドポイントであり、アクセストークンの発行要求を受け付けます。

OAuth2.0仕様では、いくつかのgrant_typeによるアクセストークンの取得方法が規定されていますが、本システムでサポートしているgrant_typeは、「authorization_code」、「refresh_token」のみです。新規アクセストークンの取得時には「authorization_code」のgrant_typeを、有効期限が切れたアクセストークンの再発行は「refresh_token」のgrant_typeを利用します。インタフェースの詳細はそれぞれの項目を参照ください。

4.1. リクエスト

URL	https://api.smt.docomo.ne.jp/cgi12/token
HTTP メソッド	POST
Body の Content-Type	application/x-www-form-urlencoded;charset=UTF-8
Body の文字コード	UTF-8
Body の Content-Length	エンティティボディのサイズ

アクセストークン新規取得時のリクエストパラメータを以下に示します。

HTTP ヘッダ名	Authorization
説明	ベーシック認証クレデンシャル 必須/オプション: 必須
値	Basic 認証スキームとして、クライアントIDとシークレットをそれぞれURLエンコードした後、「:(コロン)でつなぎ、Base64 でエンコードしたものを指定。

クエリパラメータ名	grant_type
説明	グラントタイプ 必須/オプション: 必須
値	“authorization_code”固定

クエリパラメータ名	code
説明	認可コード 必須／オプション: 必須
値	発行された認可コードを指定

クエリパラメータ名	redirect_uri
説明	コールバック URL 必須／オプション: 必須
値	Authorization エンドポイントで指定した URI を指定

アクセストークン新規取得時のリクエストのサンプルを以下に示します。

<pre>POST /cgi12/token HTTP/1.1 User-Agent: Mozilla/5.0 (Windows NT 6.1) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/33.0.1750.117 Safari/537.36 Host: api.smt.docomo.ne.jp Authorization: Basic ZGowemFpWnBQWEZTY1dVd1NHSlJhazFyVk...zM2MxZA== Content-Type: application/x-www-form-urlencoded;charset=UTF-8 Content-Length: xxx grant_type=authorization_code&code=S542fdWGpgVI6iAstw2ETfi67ueREkcMV3GsMc8Uk39X&redirect_uri=https://test.com/oauth-client/jsp/backcode.jsp</pre>
--

アクセストークン再発行(リフレッシュ)時のリクエストパラメータを以下に示します。

HTTP ヘッダ名	Authorization
説明	ベーシック認証クレデンシャル 必須／オプション: 必須
値	Basic 認証スキームとして、クライアントIDとシークレットをそれぞれURLエンコードした後、「:」(コロン)でつなぎ、Base64でエンコードしたものを指定。

クエリパラメータ名	grant_type
説明	グラントタイプ 必須／オプション: 必須
値	“refresh_token”固定

クエリパラメータ名	refresh_token
-----------	---------------

説明	リフレッシュトークン 必須／オプション: 必須
値	発行されたリフレッシュトークンを指定

クエリパラメータ名	scope
説明	アクセストークン発行対象の scope を指定。 半角スペース区切りで複数指定が可能。 有効期限が切れる前のアクセストークンに対してユーザが許可していた scope の中から選択して指定することが可能(新たに追加は不可)。 指定しない場合は、同じ scope のアクセストークンが再発行されます。 必須／オプション: オプション
値	scope 名を半角スペース区切りで設定

アクセストークン再発行(リフレッシュ)時のリクエストのサンプルを以下に示します。

<pre>POST /cgi12/token HTTP/1.1 User-Agent: Mozilla/5.0 (Windows NT 6.1) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/33.0.1750.117 Safari/537.36 Host: api.smt.docomo.ne.jp Authorization: Basic ZGowemFpWnBQWEZTY1dVd1NHSlJhazFyVk...zM2MxZA== Content-Type: application/x-www-form-urlencoded;charset=UTF-8 Content-Length: xxx grant_type=refresh_token&refresh_token=p6k3idtlwheeTtFpr6d2cT3RcRIMePmfOjZbmQnRZRrh</pre>
--

4.2. レスポンス(正常時)

正常時のレスポンス仕様を以下に示します。

No	項目	内容	備考
1	ステータスコード	200	
2	Body の Content-Type	application/json;charset=UTF-8	
3	Body の 文字コード	UTF-8	
4	Cache-Control ヘッ ダ	no-store	
5	Pragma ヘッダ	no-cache	

No	項目	内容	備考
6	Body の Content-Length	エンティティボディのサイズ	

表 レスポンスパラメータ(アクセストークン新規取得時)

No	項目名	パラメータ 種別	パラメータ 名	必 須	型	文字 列長	利用可能文 字種別	備考
1	アクセ ス トークン	Body (JSON)	access_token	○	String	44	%x20-7E	アクセストークン。 API へアクセスする 際に使用。
2	トーク ン タイプ	Body (JSON)	token_type	○	String	-	-	値は“Bearer”固定。
3	有効期 限	Body (JSON)	expires_in	○	String	-	%x30-39	アクセストークンの 有効期限を表す秒 数。
4	リフレ ッシュ トーク ン	Body (JSON)	refresh_token	-	String	44	%x20-7E	リフレッシュトーク ン。アクセストーク ンを再発行(リフレッ シュ)するとき使用
5	scope	Body (JSON)	scope	○	String	1~ 512	各 scope 値 は、 %x41-5A/%x 61-7A %x30-39	認可された scope。

アクセストークン新規取得時のレスポンスのサンプルを以下に示します。

<pre> HTTP/1.1 200 OK Content-Type: application/json;charset=UTF-8 Cache-Control: no-store Pragma: no-cache Content-Length: xxx { "access_token": "Fprp6k3idtlwheeTt6d2cT3RcRIMePmfOjZbmQnRZRrh", "token_type": "Bearer", </pre>

```

“expires_in”:“3600”,
“refresh_token”:“2ES542fdWGpgVI6iAstwTGsMc8Uk39Xfi67ueREkcMV3”,
“scope”:“name sex tel”
}

```

表 レスポンスパラメータ(アクセストークン再発行(リフレッシュ)時)

No	項目名	パラメータ種別	パラメータ名	必須	型	文字列長	利用可能文字種別	備考
1	アクセストークン	Body (JSON)	access_token	○	String	44	%x20-7E	アクセストークン。API へアクセスする際に使用。
2	トークンタイプ	Body (JSON)	token_type	○	String	-	-	値は“Bearer”固定。
3	有効期限	Body (JSON)	expires_in	○	String	-	%x30-39	アクセストークンの有効期限を表す秒数。
4	リフレッシュトークン	Body (JSON)	refresh_token	-	String	44	%x20-7E	リフレッシュトークン。アクセストークンを再発行(リフレッシュ)するときに使用。
5	scope	Body (JSON)	scope	○	String	1~512	各 scope 値は、 %x41-5A/%x61-7A %x30-39	認可された scope。

アクセストークン再発行(リフレッシュ)時のレスポンスのサンプルを以下に示します。

```

HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
Cache-Control: no-store
Pragma: no-cache
Content-Length: xxx

{
  “access_token”:“Fprp6k3idtlwheeTt6d2cT3RcRIMePmfOjZbmQnRZRrh”,

```

```

“token_type”：“Bearer”,
“expires_in”：“3600”,
“refresh_token”：“2ES542fdWGpgVI6iAstwTGsMc8Uk39Xfi67ueREkcMV3”,
“scope”：“name sex tel”
}

```

4.3. レスポンス(エラー時)

エラー時のレスポンス仕様を以下に示します。

No	項目	内容	備考
1	ステータスコード	400、401、500、503	返却されるエラーコード によってステータスコード が異なる。 詳細は「表 エラーコード 一覧」参照。
2	Body の Content-Type	application/json;charset=UTF-8	
3	Body の 文字コード	UTF-8	
4	Cache-Control ヘッ ダ	no-store	
5	Pragma ヘッダ	no-cache	
6	Body の Content-Length	エンティティボディのサイズ	

表 レスポンスパラメータ

No	項目名	パラメータ 種別	パラメータ 名	必 須	型	文字 列長	利用可能 文字種別	備考
1	エラーコ ード	Body (JSON)	error	○	String	-	-	詳細は「表 エラーコ ード一覧」参照。

表 エラーコード一覧

No	ステータ スコード	エラーコード	意味	備考
----	--------------	--------	----	----

No	ステータスコード	エラーコード	意味	備考
1	400	invalid_request	必須パラメータの欠如、パラメータ不正、クライアントシークレット有効期限が設定されておりかつクライアントシークレットの有効期限切れ等	
2	401	invalid_client	未登録クライアントからのリクエスト、クライアント認証に失敗した、等	HTTP ヘッダに“WWW-Authenticate: Basic”を含めて返却します。
3	400	invalid_grant	無効な認可コード、無効なリフレッシュトークンが指定されている。 redirect_uri が Authorization エンドポイントへのリクエスト時と異なっている。	
4	400	unauthorized_client	指定された grant_type の利用が許可されていないクライアントからのリクエストである。	
5	400	unsupported_grant_type	サポート外の grant_type	
6	400	invalid_scope	以下のとおり scope 値が不正である <ul style="list-style-type: none"> ・scope 値が空(半角スペースのみ指定) ・同じ scope 値を複数指定 ・未定義の scope 値を指定 ・要求元のクライアントに許可されていない scope 値を指定 	
7	500	server_error	認可サーバの予期しないエラー	
8	503	temporarily_unavailable	認可サーバが一時的に利用できない状態	

レスポンスのサンプルを以下に示します。

```

HTTP/1.1 400 Bad Request
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
Cache-Control: no-store
Pragma: no-cache
Content-Length: xxx

{
  "error": "invalid_request"
}
    
```

5. ユーザ ID 取得インターフェース

本章では、アクセストークンを元にユーザを一意に識別するIDを取得するための、ユーザID取得インターフェースに関するリクエスト、レスポンスについて示します。本インターフェースでユーザIDを取得できるのは、spモード契約者のみとなります。

本インターフェースを利用するためには事前に利用申請を行っておく必要があります。docomo Developer Supportでのアプリケーション申請後にマイページの「お問い合わせ」から本インターフェースを利用するアプリケーション名のご連絡をお願いします。その上で、AuthorizationエンドポイントおよびTokenエンドポイント実行時のリクエストパラメータscopeに「userid」を含めてください。

5.1. リクエスト

URL	https://api.smt.docomo.ne.jp/cgi10/userid/get
HTTP メソッド	GET

HTTP ヘッダ名	Authorization
説明	アクセストークンを指定 必須/オプション: 必須
値	「Bearer + スペース + <access_token>」の形式でアクセストークンを指定する。

HTTP ヘッダ名	X-API-Version
説明	API のバージョン番号 初回リリース時のバージョン番号は「1.0」とする。 必須/オプション: 必須
値	1.0

リクエストのサンプルを以下に示します。

GET /userid/get HTTP/1.1 User-Agent: Mozilla/5.0 (Windows NT 6.1) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/33.0.1750.117 Safari/537.36 Host: api.smt.docomo.ne.jp Content-Length: 0 Authorization: Bearer Fprp6k3idtlwheeTt6d2cT3RcRIMePmfOjZbmQnRZRrh X-API-Version: 1.0

5.2. レスポンス(正常時)

正常時のレスポンス仕様を以下に示します。

No	項目	内容	備考
1	ステータスコード	200	
2	Body の Content-Type	application/json;charset=UTF-8	
3	Body の 文字コード	UTF-8	
4	Cache-Control ヘッ ダ	no-store	
5	Pragma ヘッダ	no-cache	
6	Body の Content-Length	エンティティボディのサイズ	
7	WWW-Authenticate	Bearer+スペース+realm="userid"	
8	X-API-Version	API のバージョン番号 最大 8Byte(半角数字記号及び"."小数点)	リクエストと同じバ ージョン番号を付 与する

表 レスポンスパラメータ

No	項目名	パラメータ 種別	パラメータ 名	必 須	型	文字 列長	利用可能文字種別	備考
1	処理結 果コード	Body (JSON)	result_code	○	String	固定 4Byte	半角数字	"2000" 固定
2	ユーザ ID	Body (JSON)	user_id	-	String	-	半角英数字記号 0x30~0x39,0x41~0x5A,0 x61~7A,0x2B,0x2F,0x3D (Base64 エンコードされ た値)	

上記記載の項目以外が返却された場合は無視してください。

レスポンスのサンプルを以下に示します。

<pre> HTTP/1.1 200 OK Date: Wed, 19 Nov 2011 09:24:37 GMT Content-Type: application/json;charset=UTF-8 WWW-Authenticate: Bearer realm="userid" X-API-Version: 1.0 </pre>
--

```
{
  "result_code": "2000",
  "user_id": "UG4UUE/IHqTC6gx0cHnhbykKzmZlstJX1wNmVFBVzwq3RLGb0nayJVxqZ2RCy009"
}
```

5.3. レスポンス(エラー時)

エラー時のレスポンス仕様を以下に示します。

No	項目	内容	備考
1	ステータスコード	400,401,403,404,405,408,500,503	返却される処理結果コードによってステータスコードが異なる。 詳細は「表 処理結果コード一覧」参照。
2	Body の Content-Type	application/json;charset=UTF-8	
3	Body の 文字コード	UTF-8	
4	Cache-Control ヘッダ	no-store	
5	Pragma ヘッダ	no-cache	
6	Body の Content-Length	エンティティボディのサイズ	
7	WWW-Authenticate	Bearer+スペース+realm="userid" HTTP ステータスエラー400,401,403 の場合処理結果に応じて付与: error="【エラーコード文字列】" 400:error="invalid_request" 401:error="invalid_token" 403:error="insufficient_scope"	
8	X-API-Version	API のバージョン番号 最大 8Byte(半角数字記号及び"."小数点)	リクエストと同じバージョン番号を付与する

表 レスポンスパラメータ

No	項目名	パラメータ種別	パラメータ名	必須	型	文字列長	利用可能文字種別	備考
1	処理結果コード	Body (JSON)	result_code	○	String	固定 4Byte	半角数字	詳細は「表 処理結果コード一覧」参照

表 処理結果コード一覧

No	区分	ステータスコード	状態	処理結果コード	内容
1	正常系	200	正常終了	2000	正常
2	異常系	400	リクエスト不正	4000	パラメータ不正 (許容しないバージョン番号等)
3		401	認証状態不正	4100	存在しないアクセストークン、あるいは有効期限切れのアクセストークン
				4101	対象のユーザが存在しない場合 (sp モード未契約者)
4		403	アクセス権限なし	4500	scope 不一致
5		404	リクエスト URL 該当なし	-	-
5		405	禁止メソッド	-	-
6		408	タイムアウト	3001	一時的な輻輳状態等
7		500	内部処理エラー	-	-
8	503	サービス利用不可	3002	過負荷状態等	

レスポンスのサンプルを以下に示します。

<pre> HTTP/1.1 401 Unauthorized Date: Wed, 19 Nov 2011 09:24:37 GMT Content-Type: application/json;charset=UTF-8 WWW-Authenticate: Bearer realm="userid" </pre>

```

        error="invalid_token"
X-API-Version: 1.0

{
    "result_code": "4100"
}
    
```

6. API 共通リファレンス

本章では、リクエスト、レスポンス、共通エラーコードについて示します。

6.1. リクエスト

API を実行するためには、リクエストのクエリパラメータに APIKEY パラメータを含める必要があります。なお、d フォト、データ保管 BOX の各 API について、APIKEY パラメータは対象外となりますので、各 API の機能別リファレンスをご参照ください。

クエリパラメータ名	APIKEY
説明	API キー。アプリケーションに対してユニークに付与されるキー。 必須/オプション: 必須
値	英数字

リクエストの GET サンプルを以下に示します。

```

GET /knowledgeQA/v1/ask?q=人類初の宇宙飛行士は&APIKEY=<API キー> HTTP/1.1
User-Agent: Mozilla/5.0 (Windows NT 6.1) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/33.0.1750.117
Safari/537.36
Host: api.apigw.smt.docomo.ne.jp
Connection: keep-alive
Accept: application/json
User-Agent: <各クライアント>
Accept-Encoding: gzip, deflate, sdch
    
```

ユーザの認可を必要とする API を実行するためには、上記に加え、リクエストの Authorization ヘッダにアクセストークンを含める必要があります。

HTTP ヘッダ名	Authorization
説明	OAuth 認証スキーム Authorization ヘッダ 必須/オプション: 認可要の API を使用するアプリケーションの場合、必須
値	「Bearer + スペース + <access_token>」の形式でアクセストークンを指定する。

ユーザの認可を必要とする API のリクエストの POST サンプルを以下に示します。

```
POST /1/contact/add?APIKEY=<APIKEY> HTTP/1.1
User-Agent: Mozilla/5.0 (Windows NT 6.1) AppleWebKit/537.36 (KHTML, like Gecko) Chrome/33.0.1750.117
Safari/537.36
Host: phonebook-api.smt.docomo.ne.jp
Content-Type: application/json; charset=utf-8
Content-Length: 1234
Authorization: Bearer <access_token>
{
  "key" : "value"
}
```

6.2. レスポンス

レスポンスのサンプルを以下に示します。

```
HTTP/1.1 200 OK
Content-Type: application/json;charset=UTF-8
Date: Fri, 01 Nov 2013 10:13:46 GMT
Content-Length: 286
Connection: keep-alive

{
  code: "S020010",
  message:
    {
      textForDisplay: "インターネットで調べたところ、一位は、ガガーリンです。",
      textForSpeech: "インターネットで調べたところ、一位は、ガガーリンです。"
    },
  answers: [
    {
      rank: "1",
      answerText: "ガガーリン",
      linkText: "ページ a タイトル",
      linkUrl: "http://aaa.aaa.com"
    },
    {
```

```

rank: "2",
answerText: "ユーレイ・ガガーリン",
linkText: "ページ b タイトル",
linkUrl: "http://bbb.bbb.com"
}
]
}

```

6.3. 共通エラーコード

本節では、docomo Developer support システムが各 API 共通に返却するエラーコードを示します。なお、d フォト、データ保管 BOX の各 API については対象外となりますので、各 API の機能別リファレンスをご参照ください。

・エラーメッセージ一覧

エラー種別	エラー詳細/説明	エラーコード (messageId)	Error 種別	エラー出力内容 (text)	HTTP Stats Code	reason phrase
1 認証・認可	1. ユーザ名又はパスワード不正による Basic 認証エラー	POLSLA008	policyException	-UNAUTHORIZED- Check the username/password	401	Unauthorized
	2. APIKEY 名又は APIKEY 値不正による認証エラー	POLSAL009	policyException	Unable to perform ApiKey based Authentication	401	Unauthorized
	3. 認可エラー	POL0001	policyException	-ACCESS DENIED- Service not associated with ServiceGroup	403	Forbidden
2 CoS	1. Throughput 超過アクセス	POLSLA001	policyException	Access denied for crossing the maximum TC messages	403	Forbidden
	2. Volume 超過アクセス	POLSLA002	policyException	Access denied for crossing the maximum VC messages	403	Forbidden

		3.使用不可の API に対してのアクセス	POLSLA005	policyException	Access denied for accessibility	403	Forbidden
3	Southbound Throttling	1.リクエスト数閾値を超過したアクセス	THRL004	policyException	request rate reached, Please try after sometime	403	Forbidden
4	OAuth resource Server	1.アクセストークンなしアクセス	OAUTH001	policyException	OAuth Access Token is null or empty in the request	403	Forbidden
		2.アクセストークン不正エラー	OAUTH002	policyException	Invalid OAuth Access Token in the request	403	Forbidden
		3.OAuth サーバエラー	OAUTH003	policyException	Error in getting access token details from OpenAM OAuth2.0 Authorization server	503	Service Unavailable
5	インタフェース	1. Endpoint 接続エラー	SVCEXCP503	policyException	EndPoint 接続エラーパターンに応じたエラーメッセージが出力されます※1	503	Service Unavailable
		2. リクエスト電文不正	SVCEXCP400	policyException	String index out of range: -1	400	Bad Request

※1 Endpoint 接続時 Reset 応答 (Connection Refuse)の場合: Connection refused

Endpoint 接続失敗 (Connection not open)の場合: No route to host

Endpoint 接続後無応答 (Response timeout)の場合: Read timed out

Endpoint 接続後強制切断 (Response close)の場合: Connection reset など

・エラーレスポンス電文フォーマット

レスポンス Content-Type	application/json; charset=ISO-8859-1
--------------------	--------------------------------------

・エラーレスポンスパラメータ

No.	パラメータ	説明	必須	型
1	requestError	エラーレスポンス応答	○	Object
2	requestError/policyException	レスポンス情報	○	Object

3	requestError/policyException@messageId	エラーコード	○	String
4	requestError/policyException@text	エラー内容	○	String

・エラーレスポンスサンプル

```
{  
  "requestError": {  
    "policyException": {  
      "messageId": "POLSLA008",  
      "text": "Unable to perform ApiKey based Authentication"  
    }  
  }  
}
```

以上。

(付録1) scope 一覧

本章では、3.1 節で述べた Authorization エンドポイントの scope パラメータに指定可能な値を示します。scope パラメータには下表の「scope(英名)」の値をご指定ください。

API 名	scope(和名)	scope(英名)
雑談対話	雑談対話	dialogue
トレンド記事抽出	トレンド記事抽出	curation
d フォト	写真・動画リストの取得	PhotoGetContentsList
	写真・動画の取得	PhotoGetContent
	写真・動画のアップロード	PhotoUploadContent
	クラウド空き容量の確認	PhotoGetVacantSize
	回転情報の変更	PhotoUpdateRotateInfo
	コンテンツの削除	PhotoUpdateTrashInfo
データ保管 BOX	サービス専用フォルダへのアクセス	DataboxAll
共通	ユーザ ID の取得	userid